

エコレター

4月号

皆さんこんにちは、エコレター編集部です。

本格的に暖かくなり、多くの地域で桜が咲き乱れる季節となりました。

春といえば心機一転新たなことにやる気が満ち溢れる季節ですね。

エコレターも昨年からの編集担当が引き継がれ、4月号から心機一転しております。

これからもよろしくお願い致します。

もくじ

■表紙	…1
■すいた環境教育フェスタ 2021 に出展！（アジェンダ 21 すいた）	…2～3
■すいた環境教育フェスタ 2021（団体会員出展内容紹介）	…4
■豊中市民エネルギーの会の紹介	…5
■良永ゼミ班紹介・本紹介	…6～7
■各種募集・イベント案内	…8

すいた環境教育フェスタ 2021 に出展！ (アジェンダ 21 すいた)

こんな内容を出展しました。出展内容を一部、紹介します！

～アジェンダ21すいた とは？～

1992 年に開催された地球サミットで合意された「21 世紀に向けた持続可能な開発のための人類行動計画」＝「アジェンダ 21」を受け、吹田版「アジェンダ 21」計画が策定されました。

アジェンダ 21 すいたは、この計画の実行組織として平成 18 年(2006 年)に結成しました。現在は、吹田市の環境基本計画を市民・事業者・行政の三者協働で実行していく団体として活動しています。

【幹事 池渕佐知子】



～地球温暖化フラッグシッププロジェクトチーム～

ガンバ大阪の宮本監督はじめ選手の皆様のご協力も得て、すいたクールアースウィークのポスターやチラシを作成しました。

コロナ禍のもと、活動や交流に大きな制約や制限が生じています。そのような中でも、地球温暖化は待ったなしの状況です。2020 年はムーンライトコンサートを開催できませんでしたが、これまでの 3 年間の様子を写真館として紹介しました。また、たくさんの企業、団体の方にご賛同いただき、クールアースウィークの取り組みができました。

みなさんもできることから始めましょう。

【温暖化 FSP 池渕佐知子】



～食品ロス削減プロジェクトチーム～

食品ロスとは、「まだ食べられるのに捨てられているもの」のことで、日本国内では平成 29 年において、約 612 万 t で、そのうち家庭系は 46% (284 万 t)、事業系は 54% (328 万 t) もあります。これは、国民一人一人が皆、毎日、お茶碗一杯分のご飯を捨てている量に相当します。

食品ロスは、食べ残しや消費期限・賞味期限切れで捨てられる為に生じます。日常生活で私たちができる食品ロスを減らす方法は、①冷蔵庫を整理して食材の在庫を確認、②必要なものだけ購入、③おいしく料理を食べ切ろう、の 3 つが考えられます。

事業系の食品ロスは、飲食店での私たちの食べ残しも原因の一つです。食品ロス削減 FSP では「すいた食べきり運動」を展開しており、そのひとつとして、飲食店に「すいた食べきり運動推進協力店」を増やす活動をしています。参加店舗は現在 68 店舗あります。協力店舗一覧はアジェンダ 21 すいた HP で見るすることができます。

私たちは、食べものを当たり前のように捨てることを考え直し、食べることに感謝の心で向き合あわなければならないのではないのでしょうか。

【食品ロス削減 FSP 水川晶子】



すいた食べきり運動
キャラクター
「ペロリンコ」

～省エネ相談会&じぶん発電所入門講座～

エネルギー部会では令和2年度は対外活動がほとんどできなかったため、令和元年度に実施した「省エネ相談会」と「じぶん発電所づくり入門講座」を紹介しました。

省エネ相談会とは、チェックシートを用いて家庭の省エネ状況を診断し、相談員からアドバイスを行うというものです。今後も各種イベントの開催に合わせて実施していきます。

じぶん発電所とは、屋根のないマンションやアパートの日当たりの良いベランダなどにおいて、小型の太陽光パネルを使い、じぶん専用の発電所をじぶん自身で組み立て、設置する取り組みです。発電した電気でスマホを充電したり、電気スタンドや扇風機などの小型家電を動かしたりできます。豊中市民エネルギーの会の協力を得て入門講座を実施しましたが、今後は実際に組立を行う応用講座も開催する予定です。

【エネルギー部会 馬場慶次郎】

～みどりのカーテン～

夏の気温は地球温暖化とヒートアイランド現象によって年ごとに高くなっています。

この暑い夏を、地球温暖化の原因となる二酸化炭素排出につながる電力消費を抑え、自然の力を利用して快適に過ごす「みどりのカーテン」、アジェンダ21すいた自然部会は「みどりのカーテン」の普及に努め、講座を開催しています。

つる性植物で作る「みどりのカーテン」は暑い日差しを遮るだけでなく、目に映る緑が心を和らげ、葉から出る水分が周りの気温を下げ、身も心も涼しくしてくれます。

アサガオならきれいな花をゴーヤなら収穫の喜びを感じることができます。

自然部会の講座ではゴーヤの「みどりのカーテン」の作り方と収穫したゴーヤを使ったエコクッキング講座も開催しました。

「すいた環境教育フェスタ 2021」に自然部会は「みどりのカーテン」で出展しています。

是非ご覧ください、また講座開催の折には皆様の参加をお待ちしています。

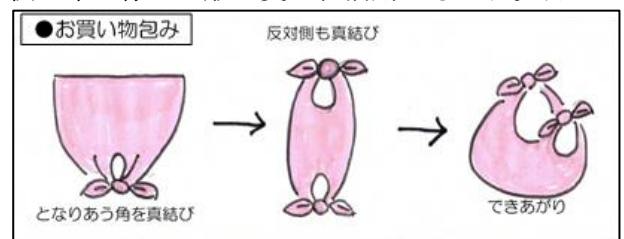
【自然部会】



～ふろしきの包み方講座&靴の修理屋さん～

～ふろしきの包み方講座～

昨年7月からのレジ袋有料化により、お買い物にはマイバッグの持参が必要になりました。日本にはふろしきで包む文化があります。ふろしきは便利なもので、一枚の布が様々な形を変え、活用できます。日々のお買い物にはもちろん、一升瓶を包んで、進物に持って行くこともできます。外出や旅行の時など、一枚持って行くと、スカーフの代わりに也成了り非常に便利。包み方の一例、お買い物包みを紹介します。



～靴の修理屋さん～

最近、駅の近くやスーパー店頭などで「靴の修理屋さん」が増えていると感じませんか？吹田市内には10店舗あります。3R(リデュース・リユース・リサイクル)にリペア(修理)を加えて4Rともいい、ごみ減量の手段の一つです。履きなれた靴を修理して履き続けられればごみは増えません。かばんや傘なども修理してくれる店もあります。皆さんも利用してみてください。

【資源部会 水川晶子】

すいた環境教育フェスタ 2021 (団体会員出展内容紹介)

～大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部～

今年の「すいた環境教育フェスタ」では、「大阪学院大学の環境およびSDGsに関する社会貢献活動」をテーマに出展しました。生物多様性の一環として、吹田の地域ブランドである、なにわの伝統野菜「吹田くわい」の保護および普及活動や、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標の「SDGs」における本学の活動についてまとめました。

【大阪学院大学 西川由希】



～NPO 法人 すいた市民環境会議～



動画のサムネイルです。
是非、ご覧ください！



気候危機は私の危機

温暖化対策として、温室効果ガスの排出を減らす「緩和」と、気候変動の影響に備え、被害を回避したり和らげたりする「適応」という考え方があります。私たちの活動をこの2つの観点から紹介しようと試みたのが出展した動画です。2月10日、吹田市は豊中市と共同で「気候非常事態」を宣言しました。その中にもあるように、気候変動がもたらす危機的状況はいまや「自分事」です。そう遠くない未来、激しい気候変動のさなかに「まだ余裕のあるとき、なぜ何にもしなかったのか」と悔やまぬために、残された時間はわずかです。「緩和」であれ「適応」であれ、今すぐ市民がアクションを起こすことが必要です。私たちも一層明快な活動を生み出していきたいと思いを強めています。

【NPO 法人 すいた市民環境会議 喜田久美子】

市民共同発電所(9.4kW)
公的施設の屋根に太陽光発電システムを設置(2017年1月点灯)
順調に発電を続けています。

～くるくるプラザ～

『環境啓発動画コンテスト授賞作品を出展しました！』

市民及び次世代を担う子どもたち一人一人が環境問題について理解と認識を深めるために、地域環境や環境保全活動への積極的な参加は必要です。「すいた環境教育フェスタ」は、環境保全に関する実践的な能力を育てることを目的に毎年開催されていますが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、昨年度はWEB開催となりました。

環境啓発動画コンテスト

環境問題に対する啓発として「すいた環境教育フェスタ」への参加は大変有効な機会ですので、くるくるプラザからは毎年実施しています「環境啓発動画コンテスト」の授賞作品を出展しました。「ごみ問題」「食品ロス」「地球温暖化問題」などをテーマにした作品をできる限り多くの方々に視聴していただいて、環境問題について一人一人が考え、行動を起こす機会にしてほしいと思い参加しました。

【くるくるプラザ 大森】



NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 の紹介

3月12日、豊中市立 eMIRAIE 環境交流センターに伺い、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 の廣田学事務局長から同法人の活動について説明を受けました。

同法人は、約 130 名の個人会員と、約 30 の団体会員から成り、先の公共施設の指定管理者となったり、豊中市から市民向けの地球温暖化対策省エネ推進事業を受託したりすることで約 2,600 万円の収入を得ており、常勤 3 人、非常勤 3 人、計 6 人の職員を抱える組織です。

豊中市では市民・事業者・行政の 3 者協働組織として、豊中市長を会長とする「とよなか市民環境会議」が 1996 年に設立され、1999 年には 101 項目の暮らしの提案からなる「豊中アジェンダ 21」が策定されました。その後、市長がトップの組織には市からの支出は困難ということで、同会議のワーキンググループ会議を独立させたものが現在の同法人です。

「豊中アジェンダ 21」は中間見直しを経て、2011 年に「第 2 次豊中アジェンダ 21」、2018 年に「第 3 次豊中アジェンダ 21」が策定されました。逐次更新することにより、同法人の目的は「『豊中アジェンダ 21』の推進を図ることを通じて、持続可能な地域社会の実現をめざす」ということで設立当初から一貫しています。ここに吹田市との違いがあります。

実際の活動は 4 つの部会と複数のプロジェクトに分かれ、独自の取り組みが行われている他、豊中市から受託実施している省エネ推進事業では、省エネ相談会、家電の省エネ診断、エネルギー「見える化」モニターの設置、エコカフェの開催など多岐にわたる事業が実施されています。

受託事業では豊中市が発行する地域商品券「とよか」を事業ごとに配布しています。使用可能な協力店舗の開拓は同法人が行ったということで、大変な苦勞をされましたが、その甲斐もあり、省エネ事業への市民の参加促進につながっているようです。

省エネ相談会の実績を上げるためのヒントを得ることが訪問の主な目的でしたが、それ以外にも多様な情報を得ることができました。部会のみならず、組織全体の活性化につなげていきたいと思えます。また吹田市と豊中市は共同で気候非常事態宣言を行ってもいますので、同法人との今後も連携についても模索していければと考えています。

【エネルギー部会 馬場慶次郎】



班紹介

先日、良永ゼミでは、これから本格的に研究を深めていくための班決めを行いました。話し合いの結果、ひと班6人からなる「エネルギー班」「水班」「アパレル班」の3つに分かれることになりました。

今は各分野の本を読んで知識を深め、プレゼンの練習をしています。先輩方のようにインカレ等の大会に出場し、より研究を深められるよう頑張ります。

エネルギー班(エコハウス)



住宅とは、生きていく中で切っても切り離せない重要な資産です。新型コロナウイルスの繁栄により『おうち時間』が謳われる世の中で、快適かつ環境に良い家に住むことができることはとても価値の高いことだと思います。エコハウス研究を進める中で、エコハウスは約40年前に初めて開発されたのにも関わらずなぜ世の中に広がりを見せることができていないのかを掘り進め、私たち自身も人々に長く愛され、かつ環境にも良いものを発想・開発したいと思います。

水班

水班では、仮想水 (virtual water) について着目しました。海外の水問題は日本と無関係ではない事を考えてもらうきっかけになれるよう、理解を深めていきたいと思っています。



アパレル班 (アパレルごみ)

SDGsの中で、私たちにとっても身近であり、大きな問題の一つであるアパレル問題。現代、ファストファッションが流行し、私たちは安価に、トレンド感のあるお洒落な服を手に入れることができます。しかしその背景には、衣服を作る労働者達の労働環境の悪化、ゴミの排出量増加等による自然環境への負荷など、多大なる悪影響が存在します。私達アパレル班はこれらの実態に着目し、深く学んだうえで、衣服を着る人だけでなく、作る人が少しでも暮らしやすくなるような未来を提案したいと考えます。



本紹介



エネルギー班(エコハウス) 『エコハウスのウソ 2』

著者 前真之

本書は、2012年の「初版」、15年の「増補改訂版」に続く3冊目のいわば「実践編」である。健康・快適な暮らしを未来永劫、エネルギーコストゼロで実現する究極のエコハウスづくりについて、知っておきたい最新の情報を25年間住宅のエネルギー専門に研究してきた筆者の知見の及ぶ限り、厳選してまとめられている。本書で取り上げるエコハウスの究極目標はただ1つ。「暖かく涼しい健康・快適な暮らし」を「いつまでも最小のエネルギーコスト」で「全ての人」へ。

水班 『水の未来-グローバルリスクと日本』

著者 沖大幹

virtual water を本来の意味から捉えると、水の「仮想的な貿易」。水問題への取組は、エネルギーや食の安全保障などへの適応対策を達成する鍵になります。本書では「仮想水」を手がかりに問題を明らかにし、持続可能な未来を構築する道を探っています。



アパレル班(アパレルゴミ)

『ZARA,ユニクロ 圧勝の秘密を明かす 生き残るアパレル 死ぬアパレル』

著者 河合拓

ここ20年で衣料品の平均単価が40%低下する一方、市場全体では30%以上供給が過多となっている。消費者は今、タダでも欲しくないモノはいらない。このような状況下で、これからのアパレル業界はデジタルのSPA戦略を打っていく必要がある。少子高齢化などの影響から余剰在庫が増加する中で、唯一成功を取めているのが「ユニクロ」。トレンドを追わない「機能的価値」を押し出す事で、値引きをせずにライトオフ期間を長くすることができる。～これからはデジタルSPAがアパレルを救う～

各種募集・イベント案内



◇6月は環境月間です◇

6月5日は環境の日です。これは、昭和47年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」（平成5年）が「環境の日」を定めています。（環境省ホームページより引用）

そのこともあって、6月の1ヶ月間は「環境月間」としています。皆さんもこの1か月間が環境月間であることを意識し、環境にやさしい行動を是非、心がけてみてください。

環境にやさしい行動 具体例

- ・ 不要な照明は消灯する
- ・ 見ていないテレビのスイッチを消す
- ・ 近くへ出かける時は歩いて行く
- ・ 食品ロスを出さないよう、計画的に買い物をし、残さず食べきる。

なお、環境月間中の下記の期間において、アジェンダ21すいたの活動を吹田市役所本庁舎正面玄関ロビーにて展示します。

市役所を訪れる機会があれば、是非ご覧ください。

◆とき（予定）／6月7日（月）～14日（月） ◆主催／アジェンダ21すいた



アジェンダ21すいた会員募集

アジェンダ21すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。地球温暖化防止や食品ロス削減をはじめ、様々な取り組みを実践しています。あなたも一緒に活動しませんか。

入会希望の方は、アジェンダ21すいた事務局まで
【アジェンダ21すいた事務局】

〒564-8550

吹田市泉町1-3-40

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL 06-6384-1782

FAX 06-6368-9900

～エコレター編集担当 関西大学良永ゼミより～

●編集後記●

今月号から正式に先輩方から受け継いで編集させていただいたこともあり、分からないことだらけで編集を終えるのに時間がかかってしまいましたが、完成時にはものすごい達成感を感じたと同時に、これからの編集でさらに良いものを作り上げたいと前向きな気持ちになりました。このエコレターを通じて、吹田市の方々に関わりながら環境のことについてもっと深く学びたいですし、わたしたちが編集したエコレターを見て、少しでも多くの方に環境について興味関心を持っていただけるようになればと思います。これから1年間よろしくお願い致します。

【良永ゼミ:松岡、井本、前田】